

# 総括質疑から

## 主な質疑と答弁

### 事業の再検討について

**Q** 政策効果がより高い事業を構築するため、事業の再検討をゼロベースで行い、一般財源ベースで約43億円の財源確保を図ったとのことだが、今後、義務的経費が増え、削減できる余地はますます狭くなっていくのか。どのように財源を確保していくのか。

**A** 見直しの対象となる一般財源の総額1兆6579億円のうち、義務的経費は1兆5358億円となっており、将来的に削減余地がより狭くなると想定する。政策的に自由に活用できる財源に対してEBPM(※2)などを進めていくことが重要。また、義務的経費の中でも、デジタル化などにより削減できるものがないか横串を刺して見直してきた。政策的に自由に活用できる経費と義務的経費の両方を見直していく。

### DXの今後の方向性について

**Q** 県内事業者のDX化への支援が重要。県庁内はDX化が進んできた印象を持つが、県民や県内事業者の利便性向上はこれからだと感じる。埼玉県四半期経営動向調査によると、DXに関心がない事業者は20%、分からないと回答した事業者は29.1%で、半数近くの事業者がDXから取り残されていると思われるが、どう考えるか。



**A** 事業者におけるDXへの取り組みについては、事業者が置かれた条件によって異なるので、事業者に対する利便性を高め、好事例を横展開していくことが必要と考えている。DXビジョンロードマップの中では、令和5年度末では事業者のDXへの取り組み割合を半数としている。取り組みを少しずつ広げることが事業者にとって最も利益を実感できるものになると考える。

### パートナーシップファミリーシップ制度について

**Q** パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入は、当事者への励まし、安心感につながる。同性婚を認めると社会の在り方、価値観や家族の在り方が変わってしまうと考える人もいるが、当事者の人権への配慮を怠ったものである。このような考えのある社会を変えていく必要があるのではないか。



**A** 同制度は国において夫婦関係や家族関係などに鑑み法律で規定をするものであり、憲法との関係などで、議論するべきものである。一方、権利やそれに関する制度については県が大いに関係するところであり、個々に関わる制度については見直しを進めている。LGBTQの方の権利、そして、今後の未来について励ますような形で、あらゆることを行っていきたい。

### その他の主な質疑

#### 部局別質疑から

- 税務行政におけるDXの推進
- サークラーエコノミーの推進
- 犬猫の殺処分対策
- 高度浄水処理施設の整備
- 埼玉版流域治水対策
- 空き家対策の促進
- 交通安全施設の整備

#### 総括質疑から

- スポーツの振興
- 障害児者施設整備
- 子育てファミリー応援事業
- 自殺予防対策
- 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴う医療体制
- ポストコロナに向けた産業振興
- 地域医療の充実

### 附帯決議

- 県証紙廃止後の収納
- 県庁舎の再整備
- 大宮公園陸上競技場兼双輪場
- 性の多様性を尊重した社会づくりの推進

次の事業などについては、それぞれ懸念があるため、必要性や執行方法について十分検討し、適切に対応するよう求めました。

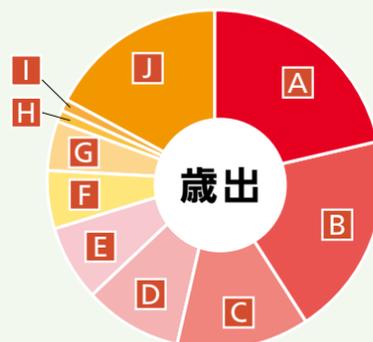
- 埼玉県スーパー・シティプロジェクトの目指すコンパクトで持続可能なまちづくり
- 子育てファミリー応援事業
- 保育人材の確保
- 乳幼児医療費助成制度
- 埼玉県コバトン健康マイレージ事業
- 埼玉県物産観光協会(DMO)の職員採用

## 令和5年度 一般会計予算の概要

当初予算 2兆2,111億円



A	県税	8,148億円(36.8%)
B	地方消費税清算金	3,333億円(15.1%)
C	国庫支出金	2,978億円(13.5%)
D	地方交付税	2,437億円(11.0%)
E	県債	2,007億円(9.1%)
F	地方譲与税	1,327億円(6.0%)
G	その他	1,881億円(8.5%)



A	教育費	4,767億円(21.6%)
B	民生費	4,275億円(19.3%)
C	公債費	2,850億円(12.9%)
D	衛生費	2,076億円(9.4%)
E	警察費	1,577億円(7.1%)
F	土木費	1,251億円(5.7%)
G	総務費	1,008億円(4.6%)
H	商工費	266億円(1.2%)
I	農林水産業費	240億円(1.1%)
J	その他	3,801億円(17.1%)

※金額の端数処理を行っています。

### 主要施策の構成

#### ○社会的課題の解決と経済の両立

- DXの推進による生産性の向上
- 資源のスマートな利用の推進
- 輝き続ける人材の育成・確保

#### ○「日本一暮らしやすい埼玉」実現への加速

- 安心・安全の追究
  - ・ 災害・危機に強い埼玉の構築
  - ・ 県民の暮らしの安心確保
  - ・ 介護・医療体制の充実
- 誰もが輝く社会
  - ・ 子育てに希望が持てる社会の実現
  - ・ 未来を創る子供たちの育成
  - ・ 人生100年を見据えたシニア活躍の推進
  - ・ 誰もが活躍し共に生きる社会の実現
  - ・ 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

#### ○新型コロナウイルス感染症の拡大防止

- 持続可能な成長
  - ・ 未来を見据えた社会基盤の創造
  - ・ 豊かな自然と共生する社会の実現
  - ・ 稼げる力の向上
  - ・ 儲かる農林業の推進